

## トラック輸送情報（平成21年6月分）

平成21年9月30日

国土交通省 総合政策局 情報政策本部 情報安全・調査課 交通統計室

担当：桑原、久島 内線 28722

直通：03-5253-8346

ホームページ：<http://www.mlit.go.jp/k-toukei/index.html>

### 1. 特別積合せ貨物

#### (1) 本月の概況

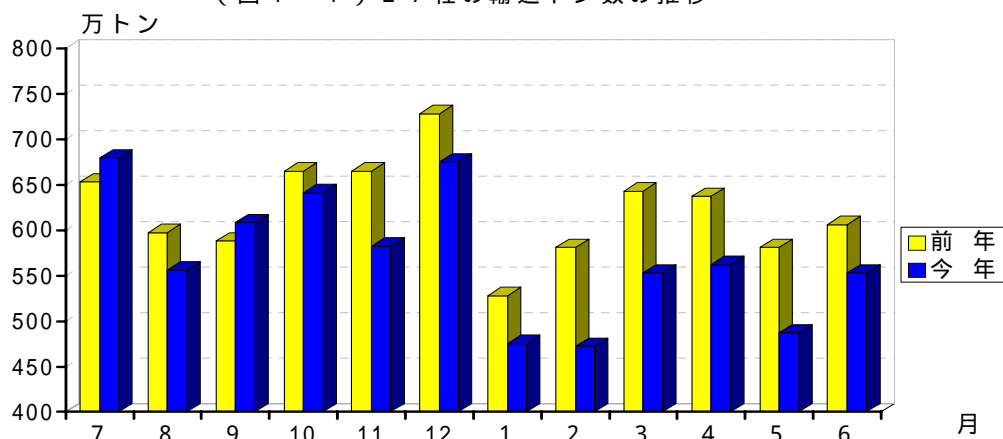
調査対象27社の本月の輸送量は、5,528,630トンで、前月と比べ総輸送量が約66万トン増加したため、前月比113.6%（季節調整済み103.5%）となり、前年同月との比較では、約53万トン減少したため、前年同月比91.2%の実績であった。

なお、平均稼働日数は25.4日で、前月と比べ2.8日増加し、前年同月と比べ1.0日の増加であった。稼働1日当たりの輸送量は、217,663トンで、前月と比べ約2千トン増加したため、前月比101.1%となり、前年同月との比較では、約3万1千トン減少したため、前年同月比87.6%の実績であった。

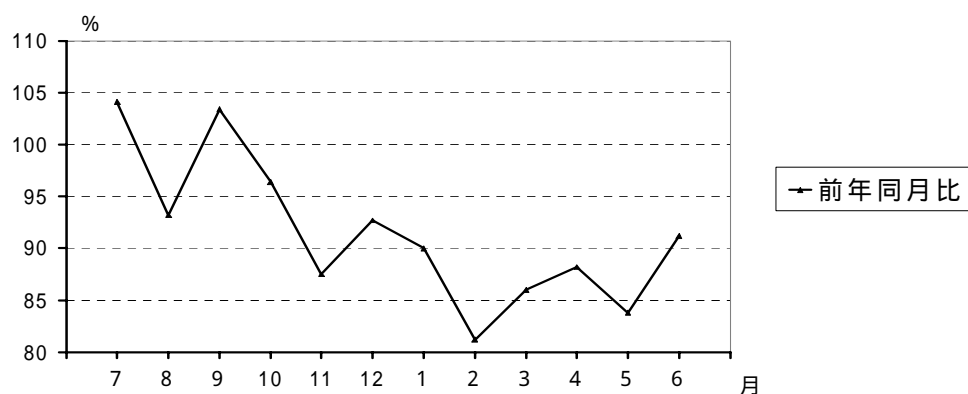
（図1-1、図1-2参照）

注）平成21年4月から貨物輸送の調査対象については、1社増え、27社となった。

（図1-1）27社の輸送トン数の推移



（図1-2）27社の輸送トン数の前年同月比



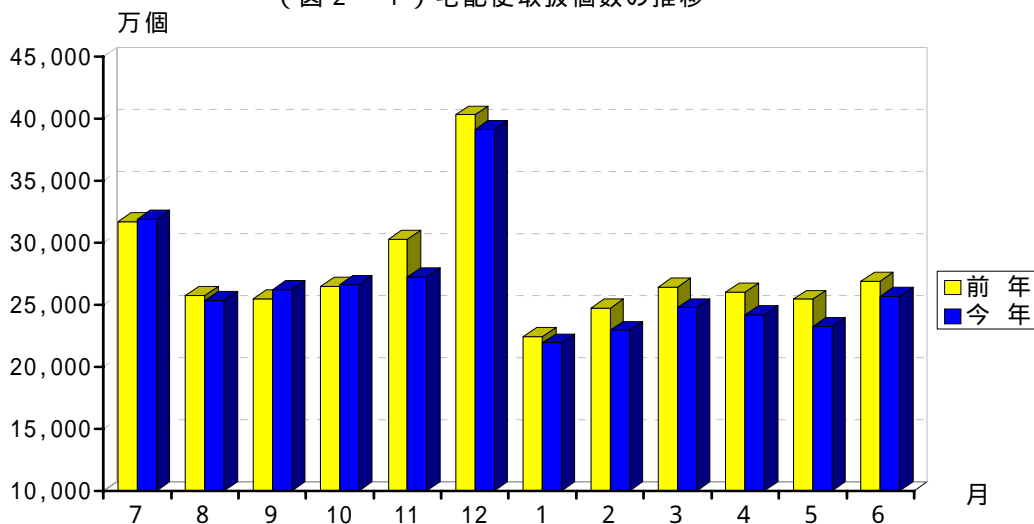
(2) 宅配便の概況

調査対象 19 社の本月の宅配便貨物の取り扱い個数は、256,508 千個で、前月と比べ 約 2,394 万個増加したため、前月比 110.3% (季節調整済み 101.3%) となり、前年同月との比較では、約 1,241 万個減少したため、前年同月比 95.4% の実績であった。

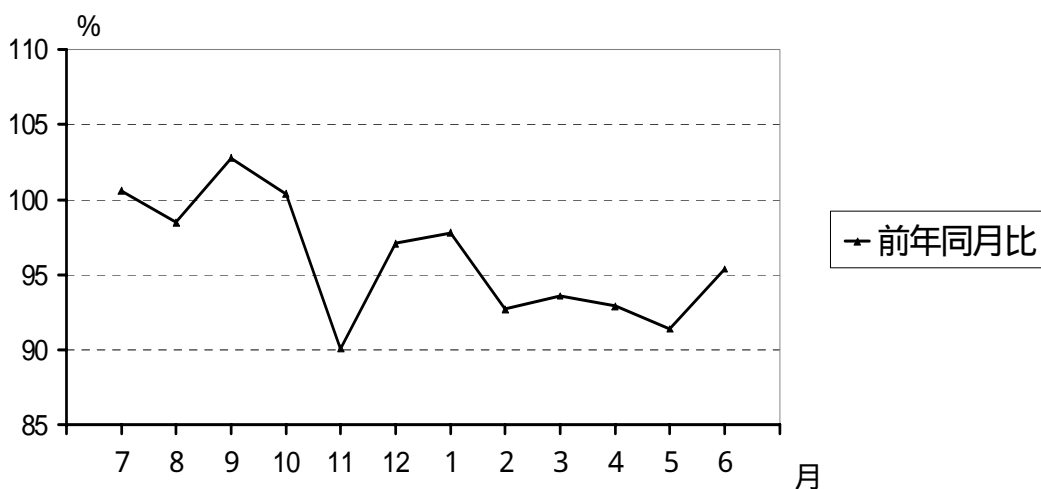
(図 2 - 1、図 2 - 2 参照)

注) 平成 21 年 4 月から宅配便輸送の調査対象については、1 社減り、19 社となった。

(図 2 - 1) 宅配便取扱個数の推移



(図 2 - 2) 宅配便取扱個数の前年同月比



(3) 調査対象 27 社の品目別及び地域別輸送状況 (表 1 参照)

前月と比べると、平均稼働日数が増加したこと等により、すべての品目で輸送量の増加がみられた。増加要因としては、工場・生産地からの貨物増がすべての品目に共通してみられたほか、「農水産品」、「機械」では、季節的需要増も要因となっている。地域的には、「食料工業品」、「日用品」、「その他(宅配便)」がほぼ全国的に増加したほか、「金属製品」、「機械」、「化学工業品」、「繊維工業品」が関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国で、「農水産品」が東北、関東で増加した。

前年同月と比べると、「農水産品」、「食料工業品」で増加がみられたものの、他の品目では輸送量が減少した。不況に伴う工場・生産地からの貨物減等が主な減少要因となっているが、「その他(百貨店配送品)」ではデパート、スーパーの貨物減が要因となっている。地域的には、「金属製品」、「機械」が東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国で、「その他(百貨店配送品)」が神奈川、関東で、「日用品」が全国的に減少した。

(表1) 品目別増減状況(回答事業者数 27社)

品目	増減事業者数				主な増減品目 (上段が増加・下段が減少)	主な増減地域	増減要因		
	著増	増	変らず	著減					
前 月 に 比 べ て	農水産品	2	4	12	野菜、青果物	東北、関東	4, 8		
	金属製品		12	9	その他の金属製品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7		
	機械	4	9	7	1	電気機械、機械部品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 8	
	化学工業品		14	8	合成樹脂、その他の化学工業品	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7		
	繊維工業品		7	14	1	織物	関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4	
	食料工業品	1	9	9	1	飲料、その他の食料工業品、加工食品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、福岡	4, 7	
	日用品	1	10	10	書籍・印刷物、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国、九州	4, 5		
	その他	1	11	9	1	宅配便	関東地方、全国	4	
前 年 同 月 に 比 べ て	農水産品	1	3	12	2	青果物	中国	4	
	金属製品		2	8	9	2	その他の金属製品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 9
	機械	1	1	5	11	3	電気機械、機械部品	東北、関東地方、北陸信越、中部地方、近畿地方、中国	4, 7, 9
	化学工業品		4	8	8	2	合成樹脂、その他の化学工業品	関東地方、中部地方、大阪、近畿、中国	4, 9
	繊維工業品			14	7	1	織物	関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、中国	4, 9
	食料工業品	2	4	8	6	その他の食料工業品	東京、関東、北陸信越、兵庫、近畿、中国、福岡	4, 7	
	日用品		3	7	9	2	文具、その他の日用品	北海道、東北、関東地方、北陸信越、中部地方、大阪、近畿、中国、全国	4, 5, 9
	その他	1	5	5	9	1	百貨店配送品	神奈川、関東	2

(注) 「主な増減地域」については、16地域[全国、6大都市圏(東京、神奈川、愛知、大阪、兵庫、福岡)及び地方運輸局(6大都市圏を含む場合はそれらをのぞく府県、九州は沖縄を含む)]単位である。なお、地方運輸局に6大都市圏を含む場合は「～地方」と表記した。

増 減 要 因	1. 新規荷主獲得(荷主契約解除)	6. 倉庫へ入る貨物増(減)
	2. デパート、スーパーの貨物増(減)	7. 倉庫から出る貨物増(減)
	3. 他機関から貨物が来た(へ流れた)	8. 季節的需要増(減)
	4. 工場・生産地からの貨物増(減)	9. 景気の好況(不況)
	5. 商社・問屋からの貨物増(減)	10. その他

## 2. 一般貨物

### (1) 本月の輸送状況

全国の一般貨物トラック事業者（本月の回答事業者数 799 社 / 調査対象事業者数 1,094 社）の輸送量は、前月比 112.1%、前年同月比 91.5%であった。

### (表2) 地方運輸局別 前月比・前年同月比

	全国	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄
前月比	112.1%	122.1%	110.7%	103.9%	109.3%	109.1%	110.9%	115.0%	105.6%	103.7%	118.0%
前年同月比	91.5%	93.2%	92.0%	90.5%	87.8%	84.1%	92.4%	88.5%	91.2%	97.1%	128.6%

### (2) 本月の地方運輸局別管内輸送状況（各運輸局より回答のあったもの）

北海道	<p>本月の輸送は、対前月比 122.1%、対前年同月比 93.2%であった。品目別には、季節的需要増等により「水産品」、「化学肥料」、「動植物性飼・肥料」等の輸送量が増加したほか、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」、「セメント」等の輸送量が大幅に増加している。一方、工場・生産地からの貨物減等により「木材」等の輸送量が減少したほか、不況の影響等により「その他の石油製品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
東北	<p>本月の輸送は、対前月比 110.7%、対前年同月比 92.0%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「穀物」、「機械」、「セメント」、「化学肥料」等の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
関東	<p>本月の輸送は、対前月比 103.9%、対前年同月比は 90.5%であった。品目別には、季節的需要増等により「食料工業品」の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「鉄鋼」、「金属製品」、「揮発油」、「その他の石油製品」、「紙・パルプ」、「その他の製造工業品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
北陸信越	<p>本月の輸送は、対前月比 109.3%、対前年同月比は 87.8%であった。品目別には、季節的需要増等により「機械」、「日用品」等の輸送量が増加したほか、建設関連の需要増等により「セメント」等の輸送量が増加している。一方、工場・生産地からの貨物減等により「鉄鋼」、「紙・パルプ」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「その他の石油製品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>
中部	<p>本月の輸送は、対前月比 109.1%、対前年同月比は 84.1%であった。品目別には、季節的需要増等により「その他の農産品」、「機械」、「日用品」等の輸送量が増加した。一方、不況の影響等により「金属製品」の輸送量が減少したほか、商社・問屋からの貨物減等により「その他の窯業品」、「取り合せ品」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月はほぼ横ばい、以降は減少傾向と予想される。</p>
近畿	<p>本月の輸送は、対前月比 110.9%、対前年同月比は 92.4%であった。品目別には、工場・生産地からの貨物増等により「金属製品」の輸送量が増加したほか、季節的需要増等により「紙・パルプ」、「食料工業品」等の輸送量が増加している。一方、不況の影響等により「機械」等の輸送量が減少したほか、季節的需要減等により「日用品」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに増加傾向と予想される。</p>
中国	<p>本月の輸送は、対前月比 115.0%、対前年同月比は 88.5%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「食料工業品」等の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「木材」、「その他の製造工業品」等の輸送量が増加した。一方、建設関連の需要減等により「砂利・砂・石材」等の輸送量が減少したほか、工場・生産地からの貨物減等により「機械」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月は増加、以降はほぼ横ばいと予想される。</p>
四国	<p>本月の輸送は、対前月比 105.6%、対前年同月比は 91.2%であった。品目別には、季節的需要増等により「野菜・果物」、「化学肥料」、「輸送用容器」の輸送量が増加した。一方、商社・問屋からの貨物減等により「木材」の輸送量が減少したほか、建設関連の需要減等により「セメント」、「廃棄物」の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>
九州	<p>本月の輸送は、対前月比 103.7%、対前年同月比は 97.1%であった。品目別には、建設関連の需要増等により「砂利・砂・石材」の輸送量が増加したほか、工場・生産地からの貨物増等により「動植物性飼・肥料」等の輸送量が増加している。一方、季節的需要減等により「野菜・果物」、「日用品」等の輸送量が減少したほか、不況の影響等により「セメント」、「紙・パルプ」、「その他の製造工業品」等の輸送量が減少している。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともに減少傾向と予想される。</p>
沖縄	<p>本月の輸送は、対前月比 118.0%、対前年同月比は 128.6%であった。品目別には、季節的需要増等により「金属製品」、「取り合せ品」の輸送量が増加したほか、建設関連の需要増等により「その他の窯業品」、商社・問屋からの貨物増等により「紙・パルプ」の輸送量が増加している。一方、季節的需要減等により「その他の農産品」の輸送量が減少した。今後の輸送見通しは、次月及び以降ともにほぼ横ばいと予想される。</p>

(3) 運輸局別、品目別増減状況(対前月比)

回答のあった事業者数を取りまとめた。各欄のうち上段は増加、下段は減少件数である。

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
		増	減	増	減	増	減	増	減	増	減	増
1. 穀物	増	1	1		1							3
	減		2							1		3
2. 野菜・果物	増	1	6		1			5	1	2		16
	減		2						1	4		7
3. その他の農産品	増	1		1		1		1	1			5
	減							2	1	4	1	8
4. 畜産品	増	2					1	1		2		6
	減	1										1
5. 水産品	増	2								2		4
	減	1			1	1		1	2	1		7
6. 木材	増		3		1			2	1	1		8
	減	6						2	3	1	1	13
7. 薪炭	増											
	減	1										1
8. 石炭	増	1	1							1		3
	減											
9. 金属鉱物	増	1								1		2
	減		1		1							2
10. 砂利・砂・石材	増	17	1		1			4		3		26
	減	5	1					4		1		11
11. 工業用非金属鉱物	増	2	1				1	1		1		6
	減											
12. 鉄鋼	増	1	2		1		1	4				9
	減	2		1	2		1	1		4		11
13. 非鉄金属	増	1			1							2
	減									1		1
14. 金属製品	増		1			1	2	1			1	6
	減		1	1	1	2	4	1		1		11
15. 機械	増		1		2	2		1	1			7
	減		3		4	1	1	3		5		17
16. セメント	増	6	2		2	1		1		3		15
	減		2		1	1		1	1	4		10
17. その他の窯業品	増	1	1		1		1	2			1	7
	減	2	1			1						4

品目	運輸局	北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全国計
18. 揮発油	増	1			1					1		3
	減		1	1	1				1			4
19. その他の石油製品	増			1	1					1		3
	減	4		2	4			1		1		12
20. コークス・ その他の石炭製品	増											
	減				1			1				2
21. 化学薬品	増		1		1		2	3				7
	減	1							2		1	4
22. 化学肥料	増	4						1	1			6
	減	2	2					1				5
23. その他の化学工業品	増		1				1	3		1		6
	減							1		1		2
24. 紙・パルプ	増		1			1	2	1	1	3	1	10
	減	1		1	2		1	4		2		11
25. 繊維工業品	増								1			1
	減				1			3				4
26. 食料工業品	増	4	2	1	1		3	8	2	3		24
	減	2	2	1			3	3	1	2	1	15
27. 日用品	増	1	2		2	1	2	2		2		12
	減	3					1	1		6		11
28. その他の製造工業品	増		2	1				3		2		8
	減			2				3		6		11
29. 金属くず	増									1		1
	減										1	1
30. その他のくずもの	増											
	減											
31. 動植物性飼・肥料	増	6		1						3		10
	減	2										2
32. 廃棄物	増		2				1	1		1		5
	減							1	1	2		4
33. 輸送用容器	増							1	1			2
	減	1	1									2
34. 取り合せ品	増	1	1					1		1	3	7
	減	1				1		2				4
35. その他	増		1	3	4	1	2	6		1		18
	減		2	3	1	3	1	4		1		15